

やまちき通信

239号



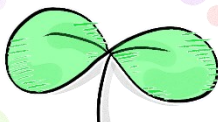
声優さんになりたい
(かねこむぎ)

ピカピカの一年生

ケーキ屋さんになりたい
(たかやますず)



おおきくなったら



なにになる?



サッカー選手になりたい
(かじたひなと)



フルーツいっぱいアイス屋さん
(くきたはな)



ふじさんのてんいんさん
(かわまたたいよう)

知りたがり
おとな塾

特集—子育て嬉しいこと大変なこと—

ティーンズ+

ティーンズ+

わいわいアカデミー修了式

やまもとかずこの

知りたがりやトーク

新年度が始まりました～。3年ぶりにコロナ規制が解除され、桜の名所はどこもかしこも人・人・人…。企業や大学でも楽しそうな新歓の様子がニュースやワイドショーなどで繰り返し取りあげられています。一方で、なんとなく盛り上がらない統一地方選、目前に控えたGW…と落ち着かない日々が続いておりますが、みなさんいかがお過ごしですか？YYYでは、間もなく新年度のイベントが始まります。チラシ、ポスター、LINEのお知らせなどなどお見逃しなく！

そんな中、ミーハー族の私は、人が多いとわかっていながら、吉野の山に桜を観に行くことに。初めての吉野、中学校の修学旅行以来の奈良。歩きに歩いた2日間、総歩数なんと35,000歩。おかげで帰宅してからしばらくは筋肉痛で、体中のあちこちらが悲鳴をあげていました。

まず向かったのは吉野の桜。ピンクのグラデーションに覆いつくされたその山の景色は、まさに圧巻！これまでテレビやSNSなどで幾度となく目にして絶景であることは知っていましたが、生の迫力には及びません。ただ、今年は開花時期が早く、ちょうど散り始めたころでした。ですが、花びらがハラハラ舞い散る中をずーっと歩くのも、なんとも風情があって、桜を十分に堪能できました。俳句は読まんかったけど。このように書くと、どんな山奥？と思うでしょうが、車が一台通ると、人がそれをよけながら歩かなきゃあいけないくらいの道幅。両側には、団子、葛餅、筍のてんぷらに味付けこんにゃく…などの飲食店がずらりと並んでおり、天候に恵まれ気温も高かったその日は、ソフトクリームの店に長蛇の列ができていましたよ。



2日目は駅周辺のお寺巡り。駅前で、観光ガイドボランティアの方に声をかけていただき、一緒に歩くことに。さすがはガイドさん、めっちゃ混雑している中を、人が少ない歩きやすい道を選びながら案内して下さいました。最初に興福寺に行ったのですが、その道中で教えてもらったのが「元の木阿弥」お話。「元の木阿弥」とは、一度良くなったことが再び元の状態に戻ることを意味しますが、奈良に由来があったなんて、チョコちゃんに叱られるかもしれんけど、知らなかった！

そもそも「木阿弥」とは人名で、戦国時代の影武者だったのだとか。それは、大和郡山の城主 筒井順昭(つついじゅんしょう)が病死したときのこと。後継ぎの順慶(じゅんけい)が幼少だったため、遺言どおり順昭の死を隠すことに。そこで替え玉として抜擢されたのが、姿や声がそっくりだった盲人の僧侶、木阿弥。それまで経験したことがないくらいの贅沢な暮らしが用意され、皆に大事にされたそう。しかし、順慶が成人し、順昭の死がバレても問題がなくなったため、「木阿弥」は用済み。城主から「元の木阿弥」に戻ったというお話。ただ、「元の木阿弥」には、他にも二説あるらしい。これぞ、いとおかし！

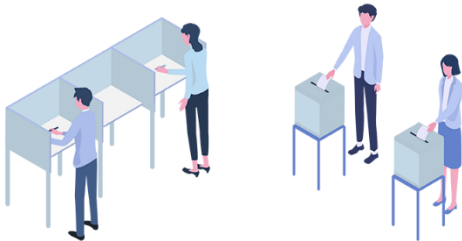
その後、春日大社、東大寺…など、奈良の春を堪能、帰路に着いたのでした。今年も楽しくお花見ができてよかった！



選挙



について学ぼう！



4月9日は広島県議会議員の選挙。ということで、今回はそもそも県議会って何だ？というところから学び直しました。県議会は知事など行政機関の方針、施策や人事などを県民の代表として検討し、代わりに意見を述べたり許可を出したりする重要な機関。そこへ呉から送り出す人物を選ぶという大きな意味を持つのが今回の選挙です。

次に、今の気になる社会問題をピックアップしました。学校教育に関する問題と物価上昇、賃金などお金に関連する問題の二つが主でしたが、その他も

いろいろと不安がある模様。それら問題に対してどう対処すべきか、ということも考えました。しかし、問題も情報も漠然としていて良案はなかなか上からず。今の社会や政治に対する不満は具体的に話せるつもりでしたが、実はぼんやりしたものが多かったのだなということに気づかされます。誰かに投票することは問題解決の糸口をその人に見出すこと。候補者の政策を見て良し悪しを評価する前に、まずは自分自身が考えを持つ必要があります。

それでは、自分の考えを持つために何が必要であるか。今回は「正しい情報」「知る努力」「課題を明確化する」の3本柱が重要ということでもとまりま

した。選挙のためにまとめられている情報はどれも似通ったもの。選挙用でない本質を捉えるには、選挙の時に限らない、継続的な政治への関心が必要なのだと気づきました。

さて、当選した5人の方は今どのように活動しているのでしょうか？

(芥川愛花里)



Nextおとな塾

呉版 異次元の少子化対策！？

講師：未定
(呉市子ども支援課出前トークを予定)

【日時】5月17日(水)19:30~(予定)
【場所】生涯学習センター
【参加費】1200円
※事前にお申込みください。



子育て支援～これからの20年を考える～



子育てで嬉しいこと・大変なこと

3月、岸田首相が打ち出した「異次元の少子化対策」。その一つに「育児休業給付金(手取りの)10割にする」というものがありました。1995年に制度が始まってから給付率は25%→40%→50%…と変遷し現在は67%、手取りで8割程度が支給されます。28年かけても、ちょっとずつしか上がらなかったものが、総理のたった一言で上がるならもっと早くできたのでは?と言いたいところ。YYYも次のステージへと突入しましたが、子育て支援・少子化対策は20年以上前から様々な施策が打ち出されているのに「まだそんなこと言ってる?」みたいなことも。そこで今年度の特集では、これまでの施策を振り返り、これから何ができるのかを考えてみようと思います。

今月は、子育て中の課題を明確にすべく、嬉しいこと、大変なことを、YYYのまわりでリサーチしました!
(宇都宮)

【嬉しいこと】

- ・元気で遊んでる時
- ・朝起きてニコニコ笑ってる時
- ・言葉が増えたりできることが増えた時

【大変なこと】

- ・急いでる時など、なかなか時間通りにいかない時
- ・公園からいつまでも帰らない時
- ・「遊ぼう遊ぼう」でご飯作れない時 (30代男性)



【嬉しいこと】

- ・なんでも興味を持って楽しんでくれる事
- ・兄妹が仲良く?遊んでくれる事
- ・お手伝いをがんばってくれる事

【大変なこと】

- ・1日の大半おしゃべりし、話し相手&遊び相手が必要な事
- ・気分によって食べムラがある事
- ・絶賛イヤイヤ期。顔を真っ赤にして大声で主張する事。(30代女性)

【嬉しいこと】

- ・子どもたちの笑顔を見ること
- ・子どもたちの成長を感じる時
- ・休日にみんなでお散歩するとき

【大変なこと】

- ・こどもの病気や怪我
- ・体力の消耗が激しい
- ・教育費用&医療費(笑) (30代女性)

【嬉しいこと】

- ・お母さんのご飯美味しいと言ってくれたとき、笑顔で笑ってくれるとき、夜一緒に絵本を読んで寝たとき。などです。

【大変なこと】

- ・なかなか寝てくれなかったときです。

(40代女性)

【嬉しいこと】

どんなダメな私でも存在しているだけで“おかあさん”と認めてくれて、純粋で100%の愛情で「大好き」と全身で思ってくれること。

大人の世界では役立たずは不要とされますが、子ども達は、何もしなくても、その存在を認めてくれます。子ども達は愛情を得ようとしてはいますが、そこに損得感情はありません。こんなことは世の中の人間関係にはなかなか存在しません。

ダメな私でも許される存在に出会えた事自体が、子育てでも、人生でも、最も嬉しい事です。

【大変なこと】

日常の積み重ねの中に感謝を持つこと。
とにかく雑多に、怒涛に、毎日は容赦なく過ぎ去っていきます。朝起きた瞬間から眠りに落ちるその時までマルチタスクをこなしながら、笑い声と怒声が交互に飛び交います。何もかもが必死で、“きちんと育て上げなければ”という責任感に押し潰されつつ、子ども達が寝た後は「またたくさん怒ってしまった…」と後悔の念が沸々と湧きます。今日こそは怒らないぞ!と決めた、おはよりの瞬間から怒っています。

私は人生を振り返った時、必ず後悔すると思います。「あんなに怒らなくても良かったじゃないか」と分かっているのに叱らずにはられないのです。

(30代女性)



【嬉しいこと】

- ・母のご飯が一番、美味しいと言ってくれる事
- ・(息子が)悲しい時、転んだ時などに「ちょっとギューして」と甘える時
- ・幼稚園に行く時に手を繋いで行くのが嬉しいよね。と言ってくれた事

【大変なこと】

- ・呉に親戚が居ないので夫が出航中に体調が悪くなると大変
- ・大変な事も多いけど、それ以上に嬉しい事が多いので、大変な事を忘れてしまう(笑) (30代女性)

【嬉しいこと】

- ・家族で笑ってる時
- ・子供がいたから出会えたママ友がいること

【大変なこと】

- ・子供が小さい時は手がかかり、大きくなれば心配が増え、いつまでたっても悩みが尽きないこと (40代女性)

【嬉しいこと】

- ・毎日何かしらの成長が見れること
- ・いつもにぎやかなこと (良いも悪いも)
- ・子育てを通じた人とのつながりがあること

【大変なこと】

- ・体力勝負
- ・妻への負担
- ・仕事との両立 (30代男性)

【嬉しいこと】

- ・縄跳びができるようになってたり、足し算できるようになってたり、成長を実感できたとき
- ・「ありがとう」を聞いた時
- ・遊びに連れてった日の夜に「今日めっちゃ楽しかったー」って素直に表現してくれる時

【大変なこと】

- ・毎日時間に追われること
- ・服や靴がすぐサイズアウトすること
- ・仕事のために子供の要望に常に応えられないこと (30代夫婦)

給食が美味しい！と評判の保育園に行きよって、給食は毎日おかわりしよるみたいなんじゃけど、家の晩ご飯はそこまで進まんよ…。でも、遠足とかでお弁当作ったらキャラ弁とかじゃなくても毎回「お弁当すっごい美味しかった！ありがとう！また作ってね！！」って目をキラキラさせながら何回も可愛い事を言ってくれたのが嬉しかった。

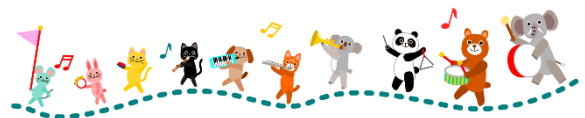
大変な事は晩ごはんを中々食べん事…私のご飯が下手なのか？

保育園の担任の先生が帰りに会うたびに「こーちゃんすごいんですよ！」「じゅんちゃん面白いんですよ〜！」と良いことを発見して伝えてくれる事。

家では中々服着んかったりお風呂も入るまでに時間かかるしおもちゃの取り合いで2人でケンカしたりで怒ってばかり(←これらが大変なところ！！！！)の気がするけど、園では意外とリーダーシップを発揮したり、面白い遊びを思いついてお友達が僕もやりたーい！って寄ってきたりするみたい。もちろんお友達と衝突して手が出たり出されたりもあるけん、ヒヤヒヤもするけど、担任の先生にクラスの盛り上げ役として頼りにしてますって言われて泣きそうだった(たたりー)

本当いつも良いところ見つけて教えてくれて、この子こんなに良いところあるんじゃ〜(デレー)って嬉しくなる。

お調子者の次男も、保育園でもありのまま過ごせてるんだね(ホッ)って安心する。 (30代女性)



【嬉しいこと】

- ・毎日、毎週、毎年成長が見られる
- ・うちを見つけるとだーっと走ってきてぎゅーっとする
- ・とにかくなににしても可愛い♡

【大変なこと】

- ・絶賛イヤイヤ期真っ只中！
- ・説教中の無関心
- ・他にもいっぱい書いて書きたいことあったけど、とりあえず♡笑 (30代女性)

ティーンズ⁺plus

地元 LOVE

ぎゅうぎゅう詰め



春休み満喫



気づけば4月。たっぷりあった春休みがあっという間に終わりました。この春はコロナもだいぶ落ち着いていたため昨年よりもたくさんの人や場所と出会うことができました。

免許合宿で香川を訪れ、帰ってきた1週間後にはサークルの合宿で佐賀、福岡に行き、また3週間後には実家広島に。なかでも1番楽しかったのは、やっぱり広島に帰省していたときです。

高校時代の部活メンバーと久しぶりに再会し、カラオケで「プリキュア5、スマイル go go!」を歌って騒いでると、見た目は大人になっていても中身は変わってないなと感じました(笑) 高3のときに好きだった人含め、仲の良かった人と公園で遊ぶこともできました。2年前の気持ちはもう完全になくなってお互いの大学入ってからの恋バナやみんなの恋愛観などの話題で盛り上がり気づいたら陽が落ちて真っ暗になってました(笑) 高2からの

推しとも会う機会があり、YYYの事務所で4時間ぶっ通しでボードゲームやトランプをさせていただきました。高校2年間まともに話したこともなく名前すら覚えてないような仲でしたが、卒業して2年経った今やっと友達になれました！たぶん(笑) いろんな場所を訪れて気づいたことはやっぱり地元が1番落ち着くってことですね。2年後の私は広島で就職してる！？そんな未来が見えるような見えないような、、、。私は地元広島が大好きです！

(みーちゃん)





お久しぶりです。ハワイに来て1か月、はじめの頃はホームシックになっていましたが少しずつこちらの生活にも慣れ、楽しむ余裕ができてきた、なつです。今回はハワイに来て不思議に思ったこと、覚悟はしていたけれどそれでも驚いた日本との違いなど山のようにある感想からいくつかを紹介します。

まず、不思議に思ったことについて。アメリカは移民の国ですがハワイは特にアジア圏からの移民が多いです。それぞれの出身国ごとにチャイナタウンやコリアンタウンがあるのですがジャパントウンはないのです。ハワイの人口の中でもかなりの割合を日系人や日本人が占めているのに不思議だなと思いました。自分の中で出した答えなのですがハワイにおける日系人の人口はとて多く(町には日本の苗字を店名にしているお店が沢山ありますし、何かしらの名簿を見ると5人に2人くらいは日本名です)どこに行っても同胞と出会うことができるのでわざわざ集まって町を作らなくても良かったからなのかなと思いました。

そして、様々な国同士の文化の掛け合わせがいたるところで見られます。ホノルルには高知城をモデルに作られた教会がぼっと町の中に出現したり、ローカルのファミレスにはハワイ名物のマラサダと餅を掛け合わせた「モチサダ」という人気商品があ

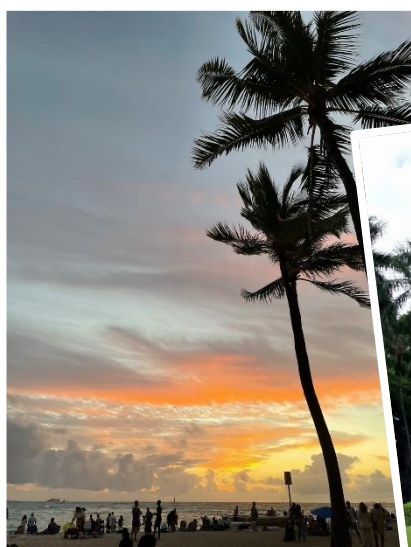


ったりと生活に関することから、話されている英語も「ピジンイングリッシュ」と呼ばれ本土の英語に比べ移民としてやってきた人々の母国語(特にオランダ、ミクロネシア、アジア圏)の影響が強く出ている英語が話されています。

次に自由と責任について感じたことです。ハワイではスケートボードやローラーシューズがスポーツや娯楽の為ではなく移動手段として使われています。日本にいたと「危険ですからここではスケートボードやローラーシューズは利用しないでください」なんて貼り紙を見かけますが、ハワイで歩行者のすぐ横をひゅーんと過ぎ去っていくスケート

ボードを見ると怪我をさせてもそれは怪我を負わせた自分の責任。規制しなかった自治体にも責任問題があるとされる日本との責任の違いを痛感し、アメリカの自由さは自己の責任の大きさが関わっているのねと感じました。

以上、なつの感じたハワイのあれこれでした！





今回のわいわいアカデミーは5月14日(日)にやるデイキャンプの下見を兼ねて、飯ごうでご飯炊いて、レトルトカレーを食べた。「持物は自分で考えて持ってくる」というミッションを事前に発令。家で話し合っただけで火起こしするとき割箸あったらええよねえと持ってきた家族とか、今までの経験をいかし、軍手や焚き付けの新聞とか持ってきていたよ。当日を迎える前から頭使ったんじゃないかねえ〜！皿がいてのを思いつかなかった人もおったけど(笑)

当日、集まってすぐにレトルトカレー争奪戦！キャサリンこと私とジャンケンして、色んな種類の中から好きなものを選んでいく。皆で大盛りあがり！初めての参加者も一瞬にして仲良し。

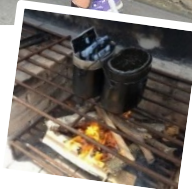
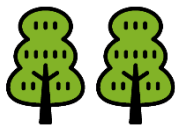
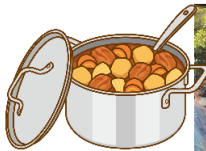


火起こしは、おぼつかない手つきで薪割りをやり、かまどに薪を置いてマッチをすってみる…が点かない。その日は強風。マッチの火を手で守りながらやっと新聞紙に火が点いた。「昔の人はこんなこと、やっとなんじゃ」という声が小学生女子達から聞こえた。なんとか火起こししたけど、今度は火の維持をしなきゃで、木を焚べたりうちわであおいで見守りながら皆休んでる暇もなくあっという間にいただきますの時間。「普段、うちの子こんなに食べるのねえ、今日はいっぱい食べるねえ」と母さんは嬉しそう。他のお母さんも「みんな、ほんま大きくなったよねえ〜」と自分の子もよその子も見ながら満足そう。火の始末は大きいお姉ちゃん達が面白そうにほうき持ってきれいに。

昼からは22年度の修了証渡し、からの、パン食い競走！参加者全員、一斉に目当てのパンめがけてなりふり構わず突進。「取れん取れん」と特に大人が楽しそうな姿に子ども達も爆笑。

子どもたちはもちろん、自分自身も成長が感じられるわいわいアカデミー。そこのあなたも一緒にどう？来てみて味わってみたいでしょ(^^*)

(上田実穂)



次回予告

とき：5月7日(日)10時~12時

場所：つばき会館

内容：デイキャンプスタッフ担当決め
&あそび企画

12時~近くの公園で昼ごはん食べて遊ぶよ！

※申し込みは事務所まで！

■発行日：2023年4月25日(毎月1回発行) ■発行責任者：米本美千恵

■発行元：特定非営利活動法人 呉子どもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目 11-12PANビル3F

■連絡：0823-24-5646 ■WEB：<http://kure-yyy.org>